

高校野球のマナーとルールを学ぼう (第27回)



財団法人兵庫県高等学校野球連盟

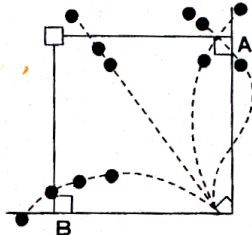
グラウンドでの試合を振り返り、高校野球の大切なマナーとルールを学びましょう。
あなたの「なぜ? どうして?」にわかりやすくお答えしていきます。

特集編 今年度改正された野球規則11項目の内から抜粋して3項目について解説します。

改正(1) 巻頭「フェアボール」第2図の説明を次のように改め(破線部を改正)、図を変更する。

【改正前】

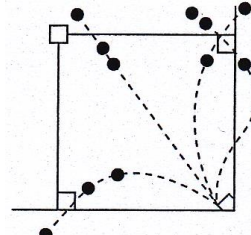
バウンドしながら内野から外野へ越えていく場合には、AB两点を基準として判断すべきであって、AB两点を過ぎるときに、フェア地域内かまたはその上方空間にあった場合には、その後ファウル地域に出てもフェアボールである。



(第2図)

【改正後】

バウンドしながら内野から外野へ越えていく場合には、一塁または三塁を基準として判断すべきであって、一塁または三塁を過ぎるときに、フェア地域内かまたはその上方空間にあった場合には、その後ファウル地域に出てもフェアボールである。

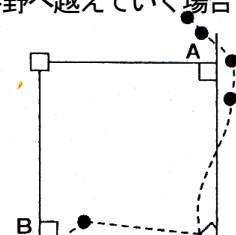


(第2図)

改正(2) 巻頭「ファウルボール」第8図の説明を次のように改め(破線部を改正)、図を変更する。

【改正前】

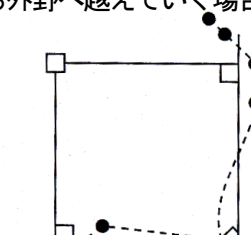
バウンドしながら内野から外野へ越えていく場合には、AB两点を基準として判断すべきで、AB两点を過ぎるときに、ファウル地域内またはその上方空間にあった場合は、ファウルボールである。



(第8図)

【改正後】

バウンドしながら内野から外野へ越えていく場合には、一塁または三塁を基準として判断すべきで、一塁または三塁を過ぎるときに、ファウル地域内またはその上方空間にあった場合は、ファウルボールである。



(第8図)

【解説】

打球の「フェア」「ファウル」の判定は、プロ・アマ問わず、一塁または三塁ベースのラインに沿った外野側角(A点・B点)を基準としてきました。

しかし、直接ベースに当たった打球はもちろん、バウンドした打球がベースに当たればフェアボールになる矛盾や国際的な状況も精査し、規則書巻頭図と説明が改められました。これにより判定基準はベース角の「点」から「辺」に変更されたのです。

[続く]



改正(9) 8.01(a)【注1】を次のように改め、同(b)【注】を削除する。また、巻頭の「投球姿勢」を変更する。

【改正前】

アマチュア野球では、投手の軸足および自由な足に関し、次のとおりとする。

(1) 投手は、打者に面して立ち、その軸足は（**投手板の側方にはみ出さないように**）全部投手板の上に置くか、投手板の前縁に触れて置き、他の足は、投手板の上に置くか、投手板の後縁およびその延長線より後方に置く。

(2) 投手が軸足の全部を投手板の上に置くか、投手板の側方にはみ出さないようにその前縁にピッタリと触れて置き、他の足を投手板の後縁およびその延長線より後方に置いてボールを両手で身体の前方に保持すれば、windアップポジションをとったものとみなされる。

(3) 投手は軸足でない足（自由な足）を投手板から離して置くときは、投手板の後縁とその延長線の後方に置くことを許している。ただし、投手板の両横に置いてはならない。投手は、自由な足を一步後方に引いてから一步踏み出すことは許されるが、投手板の両横、すなわち、一塁側または三塁側へ踏み出すことは許されない。

【改正後】

アマチュア野球では、投手の軸足および自由な足に関し、次のとおりとする。

(1) 投手は、打者に面して立ち、その軸足は**投手板に触れて置き、他の足の置き場には制限がない。ただし、他の足を投手板から離して置くときは、足全体を投手板の前縁の延長線より前に置くことはできない。**

(2) 投手が**(1)のように足を置いて**ボールを両手で身体の前方に保持すれば、windアップポジションをとったものとみなされる。

(3) **削除**



【解説】アマチュア野球では、windアップポジションとセットポジションの区別を自由な足の置き方で区別してきました。今回の改正でも基本的な主旨の変更はありません。投手の軸足も自由な足も投手板上に置くか、投手板のどこかに触れて置くことが基本です。また、自由な足を投手板から離して置く時は、足全体が投手板の前縁の延長線より前に出ないように置かなければなりません。軸足も自由な足も投手板を正しく、十分に活用したいものです。（プロ野球はアメリカの規則原書が改正された翌年の2007年から適用しています。）

【改正前】

投球姿勢
(本文8.01a注1, b参照)
windアップ・ポジション

良い例(軸足は右)

悪い例(軸足は右)

悪い例(軸足は右)

悪い例(軸足は右)

悪い例(軸足は右)

良い例(軸足は右)

悪い例(軸足は右)

軸足は投手板から離れているから、いけない

軸足は、投手板に触れて置かなければならない

最初軸足は投手板に触れているが、投球の際に投手板から離れるから、正しくない

自由な足全体が投手板の前縁より前方にあるから、正しくない

セット・ポジション

良い例(軸足は右)

悪い例(軸足は右)

良い例(軸足は右)

悪い例(軸足は右)

軸足は投手板から離れているし、自由な足も投手板の前方にないから、いけない

軸足は投手板上に正しく置かれているが、自由な足が投手板の前縁より後方にあるから、いけない

【改正後】

投球姿勢
(本文8.01a注1, b参照)
windアップ・ポジション

良い例(軸足は右)

悪い例(軸足は右)

悪い例(軸足は右)

悪い例(軸足は右)

良い例(軸足は右)

悪い例(軸足は右)

軸足は投手板から離れているから、いけない

軸足は、投手板に触れて置かなければならない

最初軸足は投手板に触れているが、投球の際に投手板から離れるから、正しくない

自由な足全体が投手板の前縁より前方にあるから、正しくない

セット・ポジション

良い例(軸足は右)

悪い例(軸足は右)

良い例(軸足は右)

悪い例(軸足は右)

軸足は投手板から離れているし、自由な足も投手板の前方にないから、いけない

軸足は投手板上に正しく置かれているが、自由な足が投手板の前縁より後方にあるから、いけない